



帯広市立明和小学校 学校だより  
Obihiro Meiwa Elementary School

# 明和の子

みんながえがお みんなでみがく みんながつながる

- 《学校教育目標》
- 明るく豊かな心を持つ子ども
  - 和やかで思いやりのある子ども
  - のびのびとよく考える子ども
  - こんきよくがんばれる子ども

令和3年3月5日 No.868

文責 岸梅哲郎

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」

「家で計画を立てて勉強している」

## 学力学習状況調査結果について

今年度は全国調査を実施しませんでした。帯広市独自に調査問題を活用した調査を行いましたので、本校の様子をお知らせします。学校のホームページに掲載していますので、そちらも併せてご覧ください。

### 国語

- ・国語では、どの領域も、概ねバランスよく力が付いていることがうかがえる。
- ・条件に合わせて制限文字数内で書く問題では、2つの条件のうち、1つの条件しか満たしていない児童が多く、正答率が低かった。
- ・ひらがなを漢字に直す問題では、「ひじょうにおどろきました」の「非常」の「常」を正しく書けず、解答できない児童が多かった。

### 算数

- ・算数では、どの領域も、概ねバランスよく力が付いていることがうかがえる。
- ・円柱の側面に貼る紙の横の長さを示す適切な点を選ぶ問題では、「長さを求める」のではなく、「長さを示す点を選ぶ」問題として捉え、必要事項を図から読み取ることができない児童が多く、正答率が低かった。
- ・ $0.75+0.9$ の問題では、 $75+9$ として考える児童が多く、 $0.01$ のいくつ分かを考え、求め方を説明することができない児童が多かった。

### 学習状況

- (肯定的な回答が85%以上)
  - 「毎朝朝食を食べる」
  - 「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」
  - 「学校のきまりを守っている」
  - 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」
  - 「人の役に立つ人間になりたい」
  - 「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」
  - 「国語の勉強は大切だと思う」
  - 「算数で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」

△ (肯定的な回答が60%以下)

「新聞を読んでいる」

## 結果を受けて全ての学年で取り組むことをまとめました

学校では・・・

- ① 基礎・基本の確実な定着
  - ・定着問題の時間を確保した授業づくり
  - ・家庭学習や朝学習での漢字や計算の反復学習の取組
  - ・効果的な習熟度別少人数指導の実践
  - ・ICTの効果的な活用
  - ・チャレンジテストの活用
- ② 組織としての授業改善
  - ・授業改善推進教員と連携した質の高い授業の実践
  - ・全学級で進め方をそろえた授業の実施(課題とまとめ、伝え合う場面が明確な授業)
  - ・「わかる・できるを感じさせる授業づくり」を目指した校内研究の推進
  - ・学習の足跡がわかるノートづくりの取組
  - ・学力向上コーディネーターを軸とした各種調査結果の分析、改善プランへの反映
- ③ 学習規律や学習習慣の定着
  - ・学習規律の徹底と話し合いの仕方の指導
  - ・家庭学習の手引きの活用
- ④ 自己有用感を育む取組の推進
  - ・子ども同士の話し合い活動の充実
  - ・人を認め、人から認められる子どもの育成

そこで家庭では・・・

「よくわかる！明和小学校」を活用してよりよい学習習慣、生活習慣の定着を

- ① 家庭学習や読書習慣の育成・定着(家庭学習の手引きを活用)
  - ・10分間×学年を目標に!
  - ・時間帯を決めて毎日継続を!
- ② よりよい生活習慣定着に向けて
  - ・「早寝・早起き・朝ご飯」(生活リズムチェックシート)の活用)
  - ・テレビやゲームの時間を減らし、家庭学習・読書・だんらんの時間に

## 来年度の児童会三役決定

2月19日に3年生以上の児童による児童会選挙が行われました。

今年の選挙は、公約を伝える場が限られていましたが、校内のテレビ放送を活用するなど、工夫しながら取り組みました。どの候補者もしっかりと公約を述べるとともに責任者になった児童も、一生懸命にアピールをしていました。

また、朝の玄関前での声出しは、人数を制限するなど、例年とは様子が違っていました。名前と顔を覚えてもらおうと元気のいい声が響いていました。



## 帯広第八中入学説明会

6年生が帯広第八中学校で、入学説明を受けました。今年度は、保護者の方とは別時間で実施しました。中学校の能戸校長先生の話や担当の先生から学習や生徒指導についての話を聞いたり、中学校3年生の皆さんが、制服や指定ジャージのことを楽しく話してくれたりしたことで、少し中学校への期待が高まってきたのではないのでしょうか。子どもたちの話を聞いているときの姿勢や表情は立派でした。



### 次年度の学級担任について

本校の通常学級の担任は原則1年となっていますが、これまで様々な事情で持ち上がる事が多かったです。次年度以降は、下記の理由から、原則通り1年ごとの担任としていきたいと思っております。

一つ目は、社会の変化です。子どもたちが大人になる頃には、AIの発達などにより、想像できないくらい社会が変化しているといわれています。そのため、人生の中で著しく成長する小学校時代に、これまで以上に様々なものの考え方に触れる機会を増やしていくことが望ましいと考えています。

二つ目は、少子化による児童の減少です。来年度の新3年生、5年生は従来通り学級編成を実施しますが、新1年生は1学級を予定しているため学級編成は実施できません。今後は、少子化の影響で1学年1学級となる事が予想され、人間関係の固定化を避けて、子どもたちにより豊かな考え方を身に付けさせる環境を整えたいと思っています。

ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。